

三陸の海を放射能から守る
岩手の会

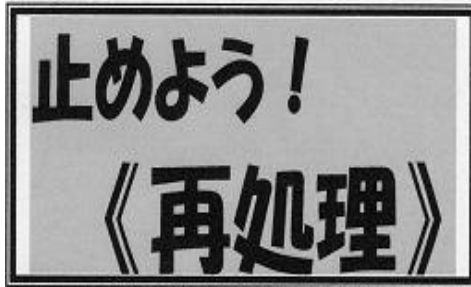
ニニコニ通信 第27号

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《岩手の環境 / R I 廃棄物 / 再処理》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag

《まった再処理分庫》



2006(平成18)年

10月18日

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX

019-623-1636

郵便振替

02240-5-102650

10月3日せん断再開 主排気筒モニタに波形

日本原燃再処理工場の使用済み核燃料せん断作業は、八月十八日深夜の敷地内高レベル放射能感知以来一ヶ月半あまり休止中だったが、十月三日から九日まで再開された模様です。主排気筒ガスモニタの波形に変動が現れ、九日まで変動が断続的に途切れながら続き、波形から使用済み燃料四六体(約二二ト)のせん断と判断されます。八月十八日の無風状態での「敷地内モニタ」の放射能感知の原因は「重いクリプトンなど放射性ガス」が主排気筒(煙突)から降下したと推測されますが、原燃からは納得のいく説明がありません。

この間十月六日から八日にかけて低気圧が三陸沖を通過し、強風が吹きあれました。また九日、北朝鮮の核実験が行われ、日本周辺の放射能測定が強化されましたが、六ヶ所工場でのせん断作業は十日以降十六日まで休止した模様です。

せん断により放射性ガスが飛散

「再処理」は嚴重に被覆されていた使用済み核燃料をわざわざ切り刻むわけですから、当然それまで閉じこめられていた放射性ガスを飛散させます。濾過装置などを働かせて放射性ヨウ素の何割かは除去出来ませんが、ほとんどの放射性ガスは排気筒から空中へ放出されてしまします。



断続的な、不規則な波形は何を意味するのか?
主排気筒A1モニタは、休止中は平坦な「ゼロ」を示しますが、せん断中は、波打った波形が現れます。三つの山がセットになって一回のせん断がなされるといわれます。断続的であったり、二つしか山がない箇所は機械が順調に動いていないのではないかと推測出来ます。

日本原燃環境モニタリングホームページ

http://www.jnfl.co.jp/monitoring/shaft.html



「グリーン・アクション」作製

八月十八日深夜の天気図とクリプトンガスの停滞
左の地図は京都の市民団体がモニタ画面と当日の気象庁データを用いて作成された。再処理工場でも、高い煙突から予想外の放射性ガスが降りてきて、有害な放射能が観測されました。フランスでは住民と話し合い、当初の計算方式を、実際の測定値優先の計算方式に改め、被曝評価を見直しています。

測定値優先で排出縮小へ
フランスのラ・アーグ再処理工場でも、高い煙突から予想外の放射性ガスが降りてきて、有害な放射能が観測されました。フランスでは住民と話し合い、当初の計算方式を、実際の測定値優先の計算方式に改め、被曝評価を見直しています。

日の気象庁データにもとづいて作製した「放射能が含まれている空気」の移動の概念図です。排気筒から三六〇メートル離れたシャフトモニタで高放射能数値を示した頃、六ヶ所周辺では、東風から無風となり、さらにしづかな西よりの風となり放射能を含む気体が吹き戻されました。
フランスでは

小出裕章先生講演まとめ(下)

六ヶ所再処理工場は 岩手に何をもちたらずのか

会場での質問に 答えて

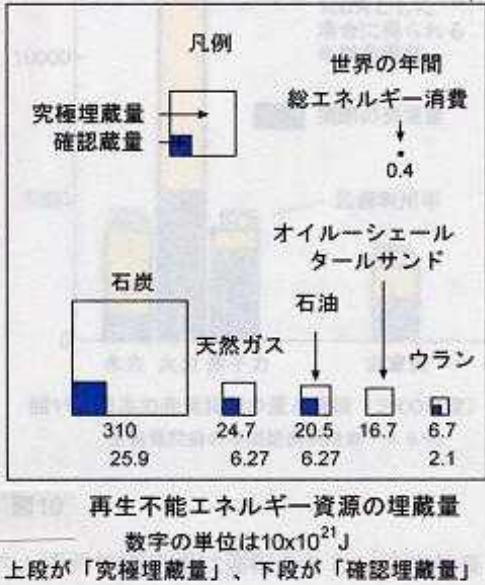
大気に放出された放射能による、小麦など農作物への影響はないのですか？

小出先生 クリプトンガスが農作物へ直接取り込まれることは考えられませんが、ヨウ素やトリチウム、セシウムなどの影響は出てくるでしょう。予測の計算はコンピューター

新聞に、「石油の枯渇に備え核燃料サイクルが必要」と出ていました。どう

も、国、原燃、県などに行った上で公表をさせ、被害を防止してゆくことが大切です。

図の外枠として使っている四角は、1年毎に地球に到達する太陽エネルギー (5400)



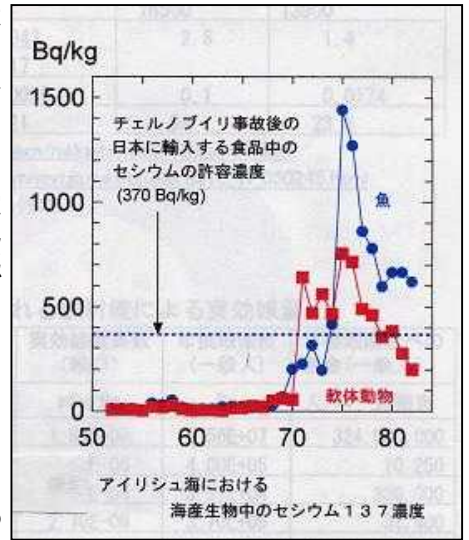
う考えればよいのですか？

小出先生 プルトニウムを利用した核燃料サイクルは現在の技術では実現の見通しがなく、ほとんどの国が撤退しています。

私が高校生の一九六〇年代、石油はあと三〇年しかもたない」と毎日授業で聞かされました。あれから四〇数年経ちましたが、今でも「石油はあと三〇年」とまだ言っています。戦前の日本でも石油はあと二〇年」と言っていて石油のために戦争をしました。こんなでたらめな推定値で国家の大事を決めてはなりません。

もちろん石油は今のような浪費が続いていると必ず枯渇しますが、だから原子力とあわてることはいけません。

日本の電気代は、毎年二基づつ建造してきた原子力発電所の建設費などが上乗せされているため、世界一高いとも言われています。そのためたくさん電力を必要とするアルミ精錬工場



は、円高により電気代が高騰すると軒並み閉鎖されてしまいました。唯一生き残ったのは自前の水力発電設備を持っていた日本軽金属蒲原工場(静岡県)のみです。

常になくなっていきます。しかし、右表はセシウムですが、海は次第にきれいになって来ていますが、現在に至っても魚の汚染は簡単には消えています。

上表に見るように、ウラン埋蔵量は少ないものです。それに対して石油の埋蔵量も、天然ガスの埋蔵量はまだまだあります。何よりも、太陽が送り届けてくれるエネルギーは膨大で、核燃料サイクルより将来性があります。

自然放射能のもとで一定数の人がガンになるとして、さらに放射能が同じくらい加わればそれだけ多くなるのです。放射線「許容量」はゼロになることはないのでしょうか？

放射能を流されても諦めてはならないと思います。放射能を流すのをやめてきれいになったという例はないのですか？

小出先生 ウィンズグー(現セラフィールド)は、国内外の批判を受け

て、一九七〇年代に野放しに放出した放射能を激減させ、現在是非

えるべきだと思います。いわゆる放射線の「許容量」というのは、結局「社会的な価値観」を付加して考えた「がまん量」であり、原子力発電で利益を受けるのだから、これくらいは我慢するべきだ」というような考え方によっています。

トリチウムを水素と分離させ、除去出来ないのですか。測定はどのようによりますか。

小出先生 トリチウムは普通の水素の三倍重いため、三重水素と言われま

す。大抵は水の形で存在します。そのため水の電気分解をすることにより軽い水素が気体として発生し、重いトリチウムはそのままトリチウム水として水中に残ります。また熱で拡散させて分離する方法もあります。お金さえかければ、環境へ出さないことが出来ます。

トリチウムの測定は弱いベータ線ですので、普通の測定器では測れません。しかし、放射線を受けると蛍光を発する液体を利用した「シンチレーションカウンタ」という方法で測れます。

(まとめ・文責大信田)